

ほ場管理システムの活用で収穫作業の効率化 (宗谷農業改良普及センター)

背景

【宗谷本所管内の概要】

- 宗谷本所管内（猿払村・浜頓別町・中頓別町・枝幸町）の耕作面積は24,754haである
- 本所管内の6TMRセンターの耕作面積は5,790haで、管内全体の23%を占めている

【地域の課題】

- 収穫面積は、天候やサイロ内の容積を見極めながら毎日決めるため、収穫作業の進捗確認に労力がかかっている



牧草の収穫

普及活動内容

- 令和2年、ほ場管理システムが4TMRセンターで導入された。収穫作業で活用されるようになり、草地の確認作業の省力化が図られた



ほ場管理システムの画面

～ほ場管理システムとは～

専用端末を装着した車両の位置を携帯などでリアルタイムに把握できるシステム。

各車両の稼働時間から、オペレータの作業時間を把握することができる。

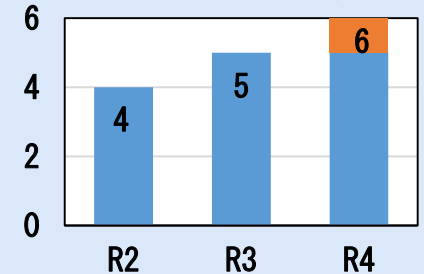


ほ場内の走行位置

普及の成果

- TMRセンターの他、収穫作業コントラクターでも導入されている

(組織) ■ コントラクター
■ TMRセンター



ほ場管理システムの導入組織数の推移

【成果のポイント】

- ほ場管理システムの活用で、収穫作業時のほ場確認作業が1/3に減少し、省力化された
- サイロへ搬入されたダンプ台数や面積など、システム上で把握できるようになり、作業計画策定に活用されている

データを活用したサイレージの品質向上を検討中